

こんなことあったよ！レポート

平成21年2月14日(土) のしろまち灯り 編



12月15日(月)には関係者が一堂に会して全体打ち合わせ会が開かれました。



1月21日(水)にはスタンブラー関係者の「鍋会議」が開かれました。



市民活力推進課・小林さん力作のイベントチラシ。両面カラーです。次回は大々的に配布したいですね。



昨年ほどではありませんでしたが、まち灯りに風はつきものようで、防火と着火の見回りは欠かせません。



米代川の流るの支障となる柳を伐採。これも灯り台に活用しました。



夏のカルメ焼きに続き、冬の綿あめも子どもに大人気で大繁盛。

平成18年から始まったこの風景街道事業も4年目を迎え、「のしろ白神ネットワーク」もますます忙しさを増してきました。

特に、能代市中心市街地全体のイベントとしてこの「のしろまち灯り」は少しずつ地域の皆さんに認めて頂き、広がりを見せているように感じております。ただ、このイベントは誰が主催し、どのように進められているかを理解している方はまだまだ少ないだろうと思います。このHP等をご覧になって少しでも多くの方に私たちの活動を知っていただけたら、とても嬉しく思います。

今年度は夏と冬に「のしろまち灯り」を開催し、私たちの活動目的である「木にこだわったまちづくり」「環境を意識したまちづくり」がアピールできたのではないかと思います。

夏に田楽作りで汗して下さった能代バイパス黒松友の会の皆さんは、昨年の暴風雪体験を踏まえ「スギあかり」の国道7号での設置を断念。今回は上町「ほっとステーション」から駅前、柳町、この度初参加の西大通商店会での実施となりました。上町のスギあかり設置や点火を黒松友の会や手這坂活用研究会の大高会長がお手伝い下さり、大変助かりました。この他、上町自治会の男性たちには火の見回りや、綿あめ作りをしてもらい何と助かったことでしょうか！感謝、感謝の連続でした。

今年度は昨年ほどの悪天候ではなかったものの、雪は降らず、雨…。スギあかりのろうそくはチャッカマンで付けては消え、付けては消え…。！能代河川国道事務所や市職員の皆さん、黒松（工藤会長、小林さん、鷲尾さん）はてんてこ舞い！！そんな中で中央商店会の村上さんが機転を利かせて買ってきてくれたバーナー(^_^)。強い火力でろうそくを溶かし、露出した芯は大きな炎に。作戦成功！拍手喝さい！上町商店会は温かく優しい灯りに包まれました。



今回もぶらんこは美味しそうなメニューがたくさん(左)。新製品・かける君(右)。



500円と1千円の積み木詰め放題コーナー。来年度からはウッディ山内さんと木のおもちゃづくりも進めていきます。



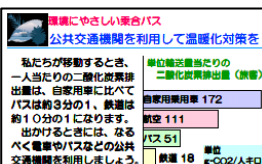
旧大栄百貨店前にもスギ灯かりを設置。駅前ちゃんこ始め中も大盛況でした。



柳町のウィンドウにもスタンプラリーの案内掲示。景品交換所も設置されました。



今回もコンポスト見直し隊が巡回バスに添乗。環境企画課・穴山さんは「みんなで乗ればエコになるバス」チケットを作成。



このまち灯りで忘れてはいけないのは、スギあかりの材料提供者「ウッディー山内」さん。今回は上町マルキ前にスギ塀とスギ縁台を並べ、その前に製作をお願いしたウッドチップ舗装の模型と木製パイロンを設置。「木の香る道」のモデルとして新たな提案を行いました。熊谷さんや谷藤さん自らが搬入、設置して下さい、とても感激でした。

駅前の「ぶらんこ」にはウッディーさん考案の可愛い子ども用コート賭け「かける君」と廃材を利用した積み木の袋詰め販売を実施。人気を集めました。ぶらんこは幼児一時預かり施設なので、若い家族連れが多く、メニューもバラエティーに富み、毎年熱気で溢れています。「なべくらべ」では「グリーンカレー」で参加、ほんとにグリーンだったそうです！もちろん味は最高 (*^.*^*)

昨年までは真っ暗だった駅前も、今年から旧大栄百貨店が「まちづくり会社」となり、活用しています。そこで、相乗効果を狙い、一緒にイベントを盛り上げてくれました。雨で外に設置できなかったスギあかりも建物の中に入れて下さり、訪れる人々をほのかな光で出迎えてくれました。

また、今回初企画の「なべくらべスタンプラリー」では駅前商店会の「駅前ちゃんこ」、西大通商店会の「まち灯りとん汁」も駅前で販売、即完売だったそうです。この度の「なべくらべスタンプラリー」は今後、商店会女性達の連携強化を目的として実施したもので、明るいまちはやっぱり、女性の笑顔と優しい心遣いがなくちゃ〜と実現しましたが、全てが思惑通りとは行かない現実もありました。そんな中で西大通商店会はこれを期に「おかみ賛会」を立ち上げました。最高に嬉しく、実行が無駄ではなかった大きな出来事です。一步前進！これからが楽しみです。

なべくらべスタンプラリーカードは上町の湊城西小学校6年生・佐々木あやめさんがこの企画のために作ってくれました。とても可愛く、楽しそうで、今にも踊り出しそうなキャラクターが大評判となりました。才能溢れるあやめちゃん、これからもよろしくね(^_-)☆

すみれ会はすみれ鍋、ときめき隊はでらっと常盤だまこ鍋、やま久はだだみかやきとあんかけ能代うどん、畠町はじゃっば汁、ぶらんこはグリーンカレー、西大通はまち灯りとん汁、駅前は駅前ちゃんこと、鍋の種類は7種類。

柳町はスタンプラリーの景品交換場所として協力してくれました。どこの鍋も大好評で、準備は大変でしたが「やって良かった！」と、しみじみ思いました。ただ、景品交換所はそれぞれの開催場所に有った方が良かったかも・・・。

4時から8時まで開催中、ときおり小雨にはなりましたが、街なか歩行には冷たい中、能代市で提供してくれたバスが大変役立ち、車中子どもたちは大はしゃぎ。110人あまりの方が利用しました。

二ツ井町から会場まで2便のバスを運行し、各会場は上町ほっとステーションからを6度巡回。添乗員は能代市環



「木」にこだわった商品を実験販売。ウッディ山内さんの赤なまはげくんは人気者。



商売上手な販売員さんのおかげで実験店は大盛況。



新看板が完成。来場者へのアンケート調査も5ヶ所で実施しました。

境企画課の穴山さん、市民活力推進課の小林さん、そしていつもご協力頂く「コンポスト見直し隊」の皆さんにお願いし、私も能代のまちを一回り…。バスから眺めるまち灯りもまた美しく、初めて灯った西大通り商店会（国道101号）はとても印象的で、灯りの和が広がる喜びを噛みしめました。各会場を楽しめるバスはとっても有り難かったけれど、できればBDFのエコバスが理想です。次回は何かかしたいものですね。

こうして、沢山の皆さんに関わっていただいたのしろまち灯り。今回はNHKやABSラジオの取材もあり、対応に冷や汗の連続でした。それぞれの目に私たちの活動はどんな風に映っているのでしょうか…。企画立案等、準備期間が長く、打ち上げ花火のように終わるイベント。その中で得るものは？どれだけの成果が？

私たちの活動は「まず、やってみよう」。そこから生まれる「何か」を期待し、後ろ向きではなく前向きに…。「YES WE CAN」多くの力をお借りして成し遂げた事業。ご支援いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

文：能登祐子

●上町ほっとステーションができるまで



13日10時。各会へ渡すろうそくを仕分け。まだ雑然としています。



13日11時。必要なものが運びこまれます。



14日12時。壁を障子紙やスギ塀で覆いライトアップ。バツ類をセッティング。

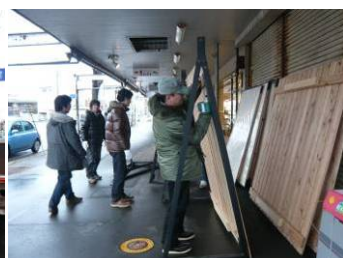


14日16時。開店前から次々とお客さんが来店。

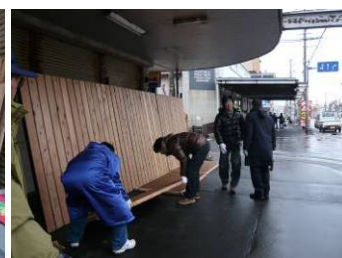
●「木の香る道」モデルができるまで



14時：幸和リースさんからBDFで動く発電機が到着。



14時：能代河川国道事務所始め元気な男子の方々がスギ塀設置開始。



14時半：ウッディ山内さんのウッドチップ舗装模型設置開始。



15時：パネルを掛け、パイロンを設置、ライティングをして完成。



19時：子どもたちにウッドチップ舗装道の上を歩いてもらったり、感想を聞いたりもしました。また、通りかかられた市長さんや地域振興局の方にも私たちの提案を聞いていただきました。



自信のメニューと提灯の灯りがお客さんをお呼び寄せます。

自家製炭で焼く香ばしい香りと美味しそうな煙が立ち込めます。



用意した味自慢のだまご鍋 150食は完売！



ほっとステーション内は湯気と笑顔でいっぱいになりました。



2月14日「第4回のしろまち灯り」が開催されました。昨年末に日程が決まり、きっとロマンチックな雪国らしいイベントになると信じていました。ところが、その日は朝から雨。もしかして去年の悪夢の再来か？

はじめのうちは小雨で少し風もありましたが、それも次第に止み、沿道に並べられた廃食油を活用したローソクにやわらかな明かりが灯ると、何処からともなく人々が集まってきました。

今年のメインは「鍋くらベストンプラリー」。つみれ鍋をはじめ全部で20品以上のあったかい食事や飲み物の屋台が各所に設けられました。

我が常盤ときめき隊のメニューは、定番となった「だまご鍋」と「炭火やきとり」。しかも食材は全部地元産で、その名も「でらっと常盤だまご鍋」。大盛況のうちに150食、やきとりは1000本超を完売することが出来ました。子どもたちの「いい匂い！」「おいしい！」の声に我がときめき隊自慢のお母さん達も目を細めます。

素朴な田舎料理ですが、しっかりした食材を使って真心をこめて作る、これが本物の味なんだよ！忘れないでね。子どもたちの中には初めて「だまご鍋」を食べたという子もいてビックリ！そう言えばスーパーにはキリタンポは売っているけど「だまご」はあまり見ないなあ。若いお母さんたちは忙しいのだろうか、などと余計なことを考えてしまった。

4回目の開催となった「まち灯り」。市民の皆さんは何を求めて「灯り」に集まって来てくれたのでしょうか。「協働」で進める能代らしい街づくり。地域の共感を得ながら成長し、そして利益もあげていく、そんなイベントになっていきたいですね。

P.S NWの皆さん、来年の開催日を決める際には御神酒をあげてみませんか。

文：石川博孝

●各団体自慢の鍋、なべ、なべ





今回も平山さんが手書きのチラシを作成し皆で配布。店内には大きなメニューも表示。



入り口左手の屋台ではすみれ鍋と広東がゆを販売。



スギの木箱に入れてもくとクッキーを販売。ココアのほか、おとなに大人気の喜久水の熱燗コーナーも設置しました。



台所ではフライドポテトを揚げます。回を重ねるごとに腕前が上っています。



ほっとステーションの周りはいつまでも多くの人で賑わっていました。



2月14日はバレンタインデー！いよいよ「まち灯り」のスタートです！今年は昨年のような大荒れになりませんように・・・と願いながらもやっぱり・・・。

時々、冷雨が降る中、午前中からほっとステーションで会場づくり。

今年の屋台メニューは、鳥ひき肉のつみれ団子と野菜をたっぷり使った「すみれ鍋」、子どもたちに大人気のフライドポテト、ミルクココア、綿あめ、寒～い夜に欠かせない喜久水の熱燗、そして何といたっても話題を呼んだ、すみれ会オリジナル「手作りもくとクッキー」。

すみれ会で木都・能代の名に相応しいお菓子が出来ないかと話し合いを重ね、メンバーである相澤さん親子の数々の試作品と、幾たびかの試食を経て遂に完成したものです。一度食べたら忘れられない味！常時ほっとステーションで販売できたらいいな～とみんな夢を描いています。

今年の新企画として、会津若松の「アネッサクラブ」のように商店会の女将さんたちの連携を目指し、「なべくらベスタンプラリー」を実施、他の商店会の女性たちと交流を持たたことは大きな収穫でした。これを基に今後の活動の和が広がることを期待したいものです。

スタンプラリーの景品も、バレンタインデーにちなんだチョコレートとすみれ会のオリジナル手作りクッキーを入れてラッピング、その美味しさと可愛らしさは大好評でした。

ほっとステーションの開店は16時からでしたが、常盤ときめき隊の焼き鳥の香りに誘われてか、開店前から大勢の人が訪れ、17時のスギあかり点灯時刻には大変な賑わいとなりました。19時ごろには、ほとんどのメニューが売り切れとなり、ほっとステーションは満員御礼。その人気にすみれ会メンバーもビックリ！(^)！特に木都クッキーの売れゆきは見事だったようで、安価すぎたかしら～なんて声も・・・。次回の検討課題です。

すみれ鍋も大人気で出汁の味は絶品。レシピを聞く人も多く、すみれ会企画は大成功！みんな主婦の鏡です！フライドポテト係りもプロなみに！熱燗コーナーでは市長さんも上機嫌。和やかで笑いの絶えないほっとステーションでした。

すみれ会以外の方もお手伝いに来て下さり、感謝でいっぱいの日でした。みんなお疲れ様でした。さあ、次回はどんな企画になるのかな・・・

お楽しみに～ (*。^*)

文：能登祐子



旧大栄百貨店
あとの「市民
プラザ」にて
初出店！



お隣は同じ
く初出店の
駅前商店会
の女性たち。



これを機会に色々な連携をしながら、交
流の和を広げていけたらよいですね。

私たち西大通り商店会の「おかみ賛会」は、のし
ろまち灯りに初参加させていただきました。実は会とし
ては初めての事業となりました。
地元商店会をこよなく愛し、そして日々、奮闘してい
る主人たちを女性の勇気・やる気・元気で応援したいと
思いながらも、なかなかその一歩を踏み出すことができ
ませんでした。このまち灯りへの参加は、その大切な
一歩を踏み出す追い風になってくれました。

その追い風に乗って、ワイワイ・ガヤガヤと愛嬌
で乗り切りました。「まち灯りとん汁」「まち灯り」にな
る食材は…ピンク色のなると、ゆで玉子などなど…
最終的には炒り玉子を灯りにみだてました。
とん汁を召し上がっていただいたお客様に「炒り玉子
のあったとん汁は初めてです。」とお褒めの声をかけて
いただいて（と、まち灯りらしく明るく私たちは受け取
っています）、益々はりきりました。
そして、用意した80食分を完売しました。経費など
を差し引いて残ったのは907円。でも、貴重なかけが
えのない907円です。
2月14日、バレンタインデーの日に行われたまち灯
りは、私たち西大通り商店会の「おかみ賛会」の心にも
熱い灯をともしてくれました。本当に感謝しています。
元気はどこからでも発信できます。

文：安岡里江

●みんなであつなぐまち灯り

■参加団体と活動内容		○印はネットワークメンバー
○上町すみれ会	ほっとステーションにてすみれ鍋等 販売・廃食油回収・ろうそくづくり	
○NPO 法人常盤ときめき隊	蜂屋駐車場にて焼き鳥・野菜等販売	
○能代パイパス黒松友の会	スギ灯かり点灯支援等	
○手塚活用研究会	スギ灯かり点灯支援等	
上町自治会・中央商店会	すみれ会支援・出店・スギあかり点灯	
柳町商店街振興組合・駅前商店会 西大通り商店会・畠町商店街振興組合	鍋くらベスタンプラリー参加 スギあかり点灯	
能代市商店連合会	バレンタインデー告白イベント等	
コミュニティハウスぶらんこ	積み木詰め放題・鍋くらベスタンプラ リー参加	
コンポスト見直し隊	巡回バスに同乗し会場案内	
NPO 白神ねっと	広報	
■協力企業		
株式会社北羽新報社	後援	
株式会社ウッディ山内	スギあかり材料無償提供	
(株)GK 京都	「木の香る道」パネル作製	
幸和リース(株)	ライト・発電機提供	
中友商事(株)	BDF 燃料無償提供	
■公的機関		
○能代市 環境企画課・市民活力推進課 子ども館	関係者との連絡調整 子ども館にてろうそく作り	
○能代警察署	イベント開催中の巡回	
○能代河川国道事務所・能代国道維持出張所	イベント支援	
○秋田県立大学木材高度加工研究所	全体調整	

